

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 3 月 27 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200197		
法人名	株式会社 エポカケアサービス		
事業所名	グループホーム 五日市みどりの家		
所在地	広島市佐伯区五日市中央3丁目16-15 (電話) 082-922-7454		
自己評価作成日	平成30年3月12日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JiryoSyCd=3490200197-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 FOOT&WORK
所在地	広島市安芸区中野東 4丁目11番13号
訪問調査日	平成30年3月27日(火)

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「ゆっくり、いっしょに、たのしく」という、みどりの家の共通理念の実践により、入居者の方に対し「共感する心・思いやりの心」を高めています。 家庭的な関わりを行ない私たちが入居者の方のご家族の一員として同じ時を過ごしています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所開設から14年目のグループホーム五日市みどりの家は本部事業所との連携のもと、グループホームとしての研修を重ね職員のより良いケアに対する理念が実践されている。利用者一人ひとりの思いを把握し、人生観を尊重し、利用者に合った話し方、接し方に心がけ家庭的な環境の中で、その人らしく笑顔で穏やかな1日が過ごせるよう利用者本位に取り組みをされている。食事は三食手作りで食べる楽しみを大切にされている。地域とのつながりを重視し、町内清掃、運動会、餅つきなどに参加している。ボランティアの訪問では二胡演奏会&座ソランがあり利用者は楽しまれている。四季折々のドライブや墓参り、野球観戦に行き馴染みの場所への支援もあり、家族の訪問を歓迎し家族との信頼関係が築かれている。家族の要望があれば看取りを行われる方針で24時間対応の医療機関との連携で適切な対応がされている。</p>

グループホーム 五日市みどりの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「ゆっくり いっしょに たのしく」という理念に基づき具体的に何をすべきか考える時間をミーティングで意見を出し合い実践している。	事業所の取り組みの中で職員のより良いケアに対する理念が実践されている。理念に沿った支援ができていくかミーティングで確認されている。	ミーティング時に理念について話をしていますが、より一層職員全員に理念について周知する為に、今後朝・夕の申し送り時に唱和され浸透される事を期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会へ加入しており地域行事に参加している。運営推進会議に町内会長、中学校教頭を招き意見交換をしている。中学生の職場体験受け入れやインターナショナルスクール行事に参加する。	清掃活動や地域の行事(運動会、餅つき大会)に参加し、秋祭りにはお神輿が来て賑わいがあり、中学生の授業の一環としての職場体験を受け入れている。ボランティアの方の訪問で音楽や体操で楽しませてもらっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ホーム内への見学等は随時受け入れている。相談に来られた方のニーズを把握し対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議でいただいた意見をスタッフミーティングで再度話し合っている。他事業所の会議に参加し互いに意見交換をしている。	運営推進会議が2ヶ月に1回行われ、家族、連合町内会長、中学校教頭先生、警察、消防署の職員、地域包括支援センター職員、法人グループホーム職員、他のグループホーム管理者、事業所管理者、の出席で開催され、2ヶ月間のグループホームの状況報告等を行い、出席者からのアドバイスを受け事業所で検討しサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	区の介護保険課と具体的な連携はないが運営推進会議に地域包括支援センターの方が参加され意見交換や地域の情報を共有している。	市役所生活課に定期的に行っている。生活保護の申請や情報交換をしている。地域包括支援センターは運営推進会議に出席して頂き意見や情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ホーム内研修を行っておりスタッフの意識向上に努めている。	スタッフ全員が出席のミーティングで研修を行い、身体拘束が何にあたるか職員が知る事から始めて、現場で起きている事を話し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ホーム内研修を行っておりスタッフの意識向上に努めている。不適切な言葉使いから虐待に繋がる事を意識させている。		

グループホーム 五日市みどりの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度、かけはしを利用されている方がおられその方の情報を適切に管理し報告している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項、契約書の説明は丁寧に行い契約者が不安点や疑問点がないか確認している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	普段の面会時に意見交換する時間をいただいて何かあればスタッフミーティングの議題にしている。	家族の面会が度々あり、意見や要望を聞いている。家族会や運営推進会議に出席された時、思いを伝えられ、携帯で意見を言ってもらえる体制をとっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	随時提案を聞く機会がある。全体で話し合うべき懸案事項はミーティングで意見をまとめている。	日々の業務中、困った時、分からない時、相談が出来る環境が整っており、職員間で話し合いや、意見や提案が言える関係作りがされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	キャリアアップ制度を整え、給与水準・労働条件などの職場環境を整備している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月勉強会を行ない知識を身に付ける機会を確保している。ターミナルケアなどより深い知識を身に付ける研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	区のグループホームネットワークに加盟し交換研修、空室状況の共有をしている。		

グループホーム 五日市みどりの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にマネージャー、管理者、計画作成担当者が訪問しニーズ喚起を行なう。どういことを望まれているか聞き取りスタッフで共有している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	介護する側として望まれる事や思われている事を聞き取り、ケアプランに反映させている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、ご家族の思いを丁寧に聴きとり、ケアプランを作成。具体的なサービス内容を明記する事で支援の統一を図っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ホームの運営理念を常に念頭に置いたケアに努め、おひとりおひとりの『その人らしい暮らし』を支えていく風土づくりに取り組んでいる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ケアプランの中にご家族の方による支援内容を盛り込み、ホームと家族の双方で支え合う仕組みを構築している。また毎月のご様子を担当が手紙にし送付している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族や知人の面会時間を24時間対応している。手紙、電話の取次や仲介、なじみの場所への外出支援を行なっている。	日頃から家族の訪問は多く、仕事帰りに立ち寄られる方もある。友人、近所の方が面会に来られている。利用者の思い出の場所(墓参り)に行かれる支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活の中で入居者同士のコミュニケーションを大切にし、皆さんが主役になれるように関わり良好な関係づくりを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期入院による退去や他施設へ移られた後も本人、ご家族の相談支援に努めている。		

グループホーム 五日市みどりの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や関わりの中で常に入居者の気持ちを汲み取れる様意識している。発見があった時は記録に残しスタッフで共有できるようにしている。	日々の生活の中で得られた情報を職員間で共有し、望まれる生活に対して、してほしい事(食べ物、入浴、外出など)を受け止め意識して関わりをもっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にマネージャー、管理者、計画作成担当者が訪問し、自宅の様子、レイアウトなど写真を撮らせてもらい持ち帰りスタッフで共有している。聞き取りには時間をかけており日々の会話に取り入れている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	変化があれば細かく記録し、無理のない過ごし方が出来るよう努めている。また管理者に報告するようにし必要があれば往診医に報告する。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月モニタリングを実施し6ヶ月毎に見直し、状態の変化が生じた場合は都度手を加え現状に即した介護計画を作成している。	毎月モニタリングを実施し利用者、家族の要望を聞き、職員で話し合い、多くの意見を取り入れて6ヶ月毎に介護計画を作成している。状況の変化があった場合即見直されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	出勤しているすべてのスタッフが記録業務に関するようにしており小さな発見も見逃さず記録している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	以前住まれていた場所に本人ご家族と出掛ける事があり、数十年振りにお墓参りをしたり大切な仏壇の運び出しを手伝う事がある。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域行事やお店、施設に入居者と出向き顔の見える関係を広げる事で地域での暮らしを楽しめるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	内科・歯科の医師に訪問診療をお願いしており定期処方や緊急時の対応、疾患を早期発見できる体制を築いている。	かかりつけ医による往診が月2回、訪問看護師の健康管理、体調チェック、歯科医の往診があり、急変があった場合常に対応できる体制で24時間対応の医療が受けられるよう支援されている。	

グループホーム 五日市みどりの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度、訪問看護師が健康チェックを行ない、変化があれば往診医に報告している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院にはスタッフが同行し、入院時はホームでの暮らし方などの情報を入院先へ伝えており、退院時はカンファレンスに参加し病状の説明を受けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時、重度化・終末期に向けた指針についての確認書をお渡しし意向確認を行なっている。	入居時、書面にて重度化された場合の指針を説明している。事業所として要望があれば看取りを行う方針で家族の要望を確認し、医師の判断を基本とし十分な説明を受け対応される。数例の看取りに取り組まれた。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時連絡網を作成している。ヒヤリハット・事故報告書を作成しスタッフで情報共有と分析を行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二回、消防署の協力を得て昼夜間想定避難訓練を実施。	年2回消防署立ち合いの下、避難訓練を行い初期消火、通報が行われ、火元から一番離れた場所に利用者を誘導している。毎年一名の職員が市防災訓練所で研修に参加している。	今後起きるかもしれない地震、津波の対策を考え、マニュアル作成し、全職員で訓練される事を期待します。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	不適切な言葉遣いなどがあった場合、スタッフ間で注意し合える関係を作り、管理者・マネージャーに必ず報告されるようにしている。	プライバシーの研修を受け職員に徹底している。プライバシーを損なうような言葉遣いがあった場合、それをもらさず注意しあっている。ケア向上委員会を開き、意見を聞き適切な接遇が出来るよう対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	認知症の理解とケア・傾聴による尊厳の保持などホーム内研修に組み込まれている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日のおおまかなスケジュールはあるが個人の過ごし方を大切に、強制したり、急がさないケアを目指している。		

グループホーム 五日市みどりの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に一度訪問理容があり希望に沿った髪型にカットしてもらっている。白髪染めを希望される方はスタッフがやっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	温かい物を温かいまま提供出来るよう三食ともフロアのキッチンで手作りしている。メニューを決めたり、調理、盛り付けを一緒に行なえるようにしている。	食事は三食手作りされ、毎日八百屋さんから届く野菜や果物で季節を感じられ、利用者の好みを聞きメニューを決めている。年間の行事食も多く、その都度手作りの料理を利用者と一緒に調理したり盛り付けしている。月に一度は近くに出かけ、外食を楽しまれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	好き嫌いを把握し、体調を考慮したり、水分摂取量を記録する等状態がスタッフで共有できる様努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	動作の自立度に応じ支援している。就寝時は義歯洗浄剤に浸けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンを記録し、出来る限りトイレにて行えるよう支援している。オムツで対応している場合は一日一回は陰部洗浄を行なっている。	排泄パターンを記録し、トイレで排泄行為が可能な方はできる限り、トイレで自然に排泄できるよう自立の支援をされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘の方には極力薬に頼らず水分摂取やヨーグルトを提供して対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	午前と午後どちらでも対応できるようにしている。入浴時間も健康状態が良ければ特に制限は設けていない。	利用者の健康状態がよければ、一人ひとりの入浴したいタイミングに合わせて、強制やまかせつきりにせず、その方に合わせ対応し週2～3回入浴している。無理な方は清拭などで清潔に保てるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	シーツは週一回洗濯し、清潔に努めている。適度に臥床し夕方に疲れが出ない様午睡をすることがある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	内服のチェック表を活用し確実な与薬を実施している。状態の変化を記録し減薬につながるようケアを見直している。		

グループホーム 五日市みどりの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	毎日の家事、レクリエーションへの参加を促したり、会話の仲介をすることで気持ちよく社会参加が出来るよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日々の会話から希望を聞き取り、外出や外食に出掛けている。	日々散歩に公園に出かけ、近くのスーパー、コンビニで買い物をしたり、気分転換をしている。年間の行事の外出も多く家族と花見、動物の好きな方は動物園にその他、植物公園、イルミネーション、大型ショッピングセンター、宮島サービスエリア、墓参り、野球観戦と利用者の、希望を把握し支援している。。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	規則で所持金は認められていないが、必要があればホーム立替で自由に使う事が出来る。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	各フロアに電話、携帯電話を設置いつでも使う事が出来る。スタッフが仲介し対応する事もある。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	整理整頓に努め危険がないよう配慮する。さりげなく季節が感じられるような飾りつけを行う事がある。	リビングの壁の装飾は利用者、職員で作られた季節感ある作品で飾られ、落ち着いて過ごしやすいスペースになっており、ソファで眠られている方、テーブルを囲んで談話される方、居心地良く過ごされる場になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	椅子を余分に置いていたり、ソファでテレビが見れるような空間がある。好きな飲み物を提供するなどその時間を楽しめるよう支援する。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に新しい物を買わず、極力使い慣れた物、馴染みのある物を準備してもらうようにしている。	自宅で使われていた馴染みの家具等、家族と相談して思い思いに持ち込まれ、小さな小物、家族の写真、手芸の作品等が置かれ、仏壇を置かれた方もあり利用者が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	車椅子の自操や移乗等、見守りがあれば安全な場合は自力でできることは残存機能を維持向上する事に繋がるのでして貰う事があるが、体調不良やレベル低下に気付けるよう状態の把握や観察を行なう。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

グループホーム 五日市みどりの家

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム 五日市みどりの家

作成日 平成 30 年 3 月 28 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念について再確認する機会が少ない。	常に意識できるようになる。	朝礼時、理念を唱和する。	1ヶ月
2	13	地震、津波の対策ができていない。	火災、地震、津波の対策がある。	マニュアル作成し全員スタッフで訓練する。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。